



2023年度 年主題くともにつむぎだす～希望の中で～

0・1・2歳児 9月主題 「やりたいようにやってみる」
月のねがい
◎お祈りや讃美歌をまねようとする(0)◎保育者や友だちと雲をみたり、風邪を感じたり、虫の声を聞いたりする(0)
◎興味が広がり、のびのびと身体を動かす(0)
◎神さまのお話を聞き、親しみをもつ(1.2)◎保育者や友だちと一緒に嬉しくなり、自分の思いを表して遊ぶ(1.2)
◎季節の変化に気づき、風や雲、虫や草花などに興味をもつ

3・4・5歳児 9月主題 「おもしろい」
月のねがい
◎生活の中で、心を動かし、神さまに愛されていると感じる(3)
◎好きな遊びの中、面白いという気持ちや、友だちという楽しさを重ねていく(3)
◎空や風、果樹の変化を感じながらのびやかに身体を動かす(3)
◎神さまが望んでおられる平和を祈りあい、一人一人に賜物を与えられていることに感謝する(4.5)◎一人でじっくりと取り組んだり、友だちと一緒にイメージを共有する楽しさも感じる(4.5)残暑の中にも秋の訪れを感じ、関心を深めようとする(4.5)



さあ、2学期スタートです!!

あっという間に夏休みも終わり、2学期がスタートしました。夏の間、帰省したこと、お祭りや旅行したことなど、楽しかった出来事を目をキラキラさせて教えてくれる子どもたちです。コロナの制限も緩和され、「初めて」の経験が嬉しかったことでしょう。

こども園ではおままごとの皿いっぱいにはセミの抜け殻を集めたり、水遊びを満喫したり...の日々でした。ある日、園庭で4歳児の男の子がバツの入った大きなヤカンをめぐって揉めている様子。AくんとRくんが「ぼくの!!」とヤカンを引っ張り合っていました。どうするのかな～と、そばで見ていることにしました。2人の近くにいたMくんが「ジャンケン、ジャンケン!」とアドバイス。2人はジャンケンし、Aくんが勝ち! Aくんがヤカンを持つとすると、Rくんが泣いてなかなか渡そうとしません。Aくんは「ジャンケンに勝ったし!」と言いつつも、困った表情を浮かべていました。私が仲裁に行こうかなと思っていると、Aくんは納得はいってないようでしたが、Rくんにヤカンを渡していました。その後、RくんとMくんが「バツ探ししよう!」とその場を離れました。すると、Aくんはバツのエサにしようと思っていたのか、すぐに草をむしってヤカンの中に入れると、嬉しそうに微笑んでいました。

まだまだ思いを言葉でうまく伝えられない4歳児です。Aくんは葛藤もあったと思いますが、一緒に遊ぶための自制を彼なりに考えたこと、Mくんの仲裁に入る姿にも成長の過程が見えて感心しました。

2学期は行事が盛りだくさん学期です。子どもたちの心と体もう～んと成長した姿を見せてくれることでしょう。まずは少しずつ生活リズムを整えて、元気に過ごしていきたいと思います。保護者の方にはご協力を多々頂くこともあると思いますが、何卒ご協力をお願いします。

大河

今月の聖句 「あなたの恵みをわたしは楽しみ、喜びます。」 詩篇 31:7

今年の夏、第105回全国高等学校野球選手権記念大会(甲子園)は、慶應義塾高校が大旋風を巻き起こし、107年ぶりに全国制覇を果たしました。猛暑の夏に、熱い戦いを繰り広げて多くの感動を与えてくれました。

とても印象に残ったのは、決勝戦を戦った慶應義塾高校の森林貴彦監督と仙台育英高校の須江航監督の言葉でした。慶應野球の特徴は、「自由な髪形」「監督と選手の距離の近さ」「大学生コーチが指導」などで、モットーは自由を重んじる「エンジョイ・ベースボール」でした。森林貴彦監督は優勝を決めた後、歓喜に沸く選手たちにこう言葉を送りました。「この優勝の経験が、彼らの人生におけるピークでないことを望みます」。つまり、甲子園の経験は彼らが人間として成長していく上での一過程にすぎないこと、その経験をこれから長く続く人生の中で生かしてほしいとの期待の発言でした。片は、惜しくも二連覇を逃した仙台育英高校の須江航監督の口癖は、「人生は敗者復活だ」だそうです。何か成果を得られる時は負けから始まるということを教え続けてきました。

高校球児たちが辛い練習の中でも、楽しさや希望を持ち続け、それを人生の糧とすることが出来るのは、そのような素晴らしい指導者がいたからだろうと思います。「恵み」という言葉は、苦しみの中でも楽しみや喜びを見出させてくれるものです。私たちが「エンジョイ自分の人生」「人生は敗者復活だ」と言えるのです。

協力牧師 池田基宣

9月の行事予定

1日(金)	始園式(1号:午前保育)
6日(水)	9月誕生会
8日(金)	シオン米脱穀(年中長児)
16日(土)	9月誕生会(もも・あじさい)
21日(木)	運動会実行委員会(P4役、長・副)
22日(金)	運動会予行練習・弁当日
30日(土)	運動会(雨天時:種子高体育館)

10月の行事予定

1日(日)	運動会予備日(雨天時:種子島高校)
2日(月)	振替休日(1号)
6日(金)	実りの秋パーティー
8日(日)	市民体育祭参加
11日(水)	牛見学
17日(火)	すみれ組試食会(11:30～)
26日(木)	すもう大会(年長・年中)弁当日
27日(金)	すもう大会(2,3歳児)

利用料見直しのお知らせ

現在の利用料額は、R3.1~12期の所得額によって算定されております。R4.1~12期の市民税額における階層の変動に伴い、市による利用料の見直しが行われます。9月分より保育料が変更になる世帯もありますので、市より送付の利用料決定通知書でご確認下さい。

家族の感染症等感染時の対応のお願い

まだまだ新型コロナやインフルエンザ等の感染が見られます。引き続き、ご家族が感染された際には、速やかに園にお知らせいただければ幸いです。園での集団感染を防ぐためにも、今後ともご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。



ウエルビーイングに向かって

数年どおり、台風と酷暑の続いた八月でした。皆様、如何お過ごしでしたでしょうか。暑い中にあっても、久しぶりにご家族で楽しい時間を満喫されたかと思えます。

この時期、海や山など自然の中で過ごされたご家庭も多かったかと思えます。太陽の光を浴び、水や砂の感触を味わう。森の中で木々の香りやせせらぎの音を楽しむ。親子でその喜びに浸ることは何と素晴らしいことでしょう。「センス・オブ・ワンダー」で著者レイチェル・カーソンはこう書いています。「子どもたちが住んでいる世界のよさ、感動、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってもらえる大人が、少なくとも一人、そばに居る必要がある」と。子どもたちが少なくとも一人、そばに居る必要があると。子どもたちが少なくとも一人、そばに居る必要があると。子どもたちが少なくとも一人、そばに居る必要があると。

最近よく耳にする言葉に「ウエルビーイング」があります。皆さんも聞かれたことがあるかと思いますが、直訳すると「幸福」「健康」という意味の well-being です。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。人の生き方全体に関わるキーワードですが、教育です。これまでも、家庭においても非常に重視されているのですが、これが、発達のおいても教育の世界において、何か「できる」ことが、発達の証のように捉えられ、傾向が見られました。また、情緒的な面でも、教えることによって思いやりなどを育てようとする向きもあります。すべて子どもの幸せを思っていることなのですが、本質的な発達の姿を見誤ると、生まれながらにして備わった感性を奪うことにもなりかねません。本来、「発達」とは、自ら生きることへの意欲の現れであり、日々育ちゆく過程そのものではないでしょうか。まさに「あそび」中である「心の発達」は、外部からの情報より内側からの振動が育てるものだと思います。時として、我々保育者も「結果」や「達成」に重きを置いています。子どもが「結果」や「達成」に重きを置いていることが、子どもの心に起こっていることや育とうとしていることに気づくことを幼児期にはより大切にしていきたいと思えます。

120年ほど前、エレン・ケイという人が「児童の世紀」という本の中でこう書いています。「子どもを育てるということとは、子どもの中に生きる喜びと希望を育てること。子ども人間として生きる喜びと希望を学ばせたい」と。2学期は運動会からクリスマス会まで様々な行事や活動が計画されています。子どもたちが遊びの世界を広げながら、「やるべきこと」と「やりたいこと」を自分の中に受け入れられるよう励ましていきたいと思えます。

まだまだ感染症も油断ができません。残暑が厳しい毎日ですが、そろそろ夏の疲れも出てくる頃です。早寝・早起き。朝ごはん・朝ウンチで、親子共々元気いきましょう。行事の多い2学期も、引き続きご協力をお願いします。

園長

遊びを通して指先機能を育む

一般的に2才児時期になると、運動機能の発達にともなって手の機能も発達し、細かい動きができる(技巧性の向上)ようになってきます。指先をたくさん使うと、色んな動きができるようになるだけでなく、脳が刺激され、「集中力」「思考力」「記憶力」「言葉を操る力」「運動機能」が発達します。箸を使う、ボタンを留める、鉛筆を持って字を書くなど、指先を使う動作は生活の中に溢れています。園ではそれらを遊びを通して獲得していただけるように遊びを組み立てています。

○シール貼り

シールを剥がして貼ると言う動作を繰り返すと、指先と脳の神経伝達を何度も行い集中力が身につきます。

○粘土遊び

こねる時は「手のひら全体を使い」細かい部分は「指先をつかって」というように手の使い方を学んでいきます。

○製作あそび

のり付けしたりハサミで切ったりと、パーツを調整しながら持ったり角度を変えていったり集中力を高め完成をイメージし思考力が育ちます。

○ブロック・パズル遊び

いろんな形や色をはめ合わせ、完成に期待しながら、記憶力と集中力を高めていきます。

子どもたちは遊ぶ楽しさに支えられることで、集中力や意欲が高まっていきます。指先を使った遊びをたっぷり楽しむことで、子どもたちの発達を促していきます。字が書けるようになるとか、箸を使って器用に食事を取れるようになるまえに、十分な指先の遊びも保障してあげたいものです。

副園長